



# 社内探訪記

株式会社エム・エス・アイ  
【発行日】平成24年1月5日  
【発行責任者】経営企画室室長  
「新年を迎えて」

## MS | 先取り情報

### ◆1月

7日(土)・14日(土)

◇全社員座禅研修(社員教育)

[上山] 久昌寺洗心庵

15日(日)

◇東北学院大学合同企業説明会

[仙台] 仙台サンプラザ

17日(火)

◇山形県立産業技術短期大学校

合同企業説明会

[山形] 高度技術研究開発センター

18日(水)

◇東北公益文科大学合同企業説明会

[酒田] 東北公益文科大学

22日(日)

◇山形県外国人留学生

合同企業説明会

[山形] 霞城セントラル

28日(土)

◇東北大学外国人留学生

合同企業説明会

[仙台] 仙台国際センター

### ◆2月

1日(水)

◇東京IT専門学校合同企業説明会

[仙台] 東京IT専門学校仙台校

## あけましておめでとうございます!

2012年、あけまして  
おめでとうございます。  
今年も何卒よろしく  
お願い申し上げます。



昨年は、予想できなかった様々な出来事があった年でありました。今年は国内外を問わず大転換時期の年でもあり、私どもエム・エス・アイは、その変化のチャンスエネルギーに変え、お客様に更にご満足され、社員に喜ばれる会社づくりを目指し、精進してまいり所存です。この新しい年が、日本、いや世界中の人々にとって幸福な年になりますことを念じ、今年初発の「社内探訪記」を発行させていただきます。

## がんばろう! 2013年就活生

お正月気分もそろそろ吹き飛ばし、就活に専念しなければならぬ時期です。このお正月にのんびりと過ごした人、就活から頭が離れなかった人、様々おいででしょう。2013年新卒者の就活が本格化してから、既に1ヶ月が経過。



この時点で既に差が生じてきている状況が伺われます。学生間に就活への意識と行動の差が生じ始めております。2013年卒の求人は前年度と比較しやや改善される見通しではあるものの、依然として厳しい状況であることには変わりありません。就活生の皆さん、自分の夢に拘り、その実現に向けて精一杯頑張ってください!



## 我社の仕事始め



↑鏡割り! おめでとございます!

今年も恒例の鏡割りと餅つきからのスタート。仕事始めの1月5日、雪が降りしきる中、全社員が外に出て、まずは、年男年女の社員2名が皆を代表して鏡割り! 皆に行き渡ったところで、「今年も当社が益々発展し社員が健康でありますように!」との願いを込めて「乾杯!」。

それが終わると今度は、社員一人ひとりがお神酒から杵に持ち替え、お祝いの餅つき。上手に餅をつく社員もいれば、力余って振り落とす杵が餅に命中せず臼に見事激突! といった社員も。日頃なかなか餅つきをする機会が少ない社員たちにとっては、これも社員教育? このような体験が毎年できる当社の仕事始めなのです……。このような当社の年頭式典には、今年春卒業予定の内定学生も参加。最初は緊張の様子でしたが、餅つきが終わり、出来立ての餅で作った「雑煮」や「あんこ餅」を社員皆と談笑しながら食べているうちに緊張も解れ、次第に笑顔が。内定学生にとっても、入社前に様々な社員たちと懇親を深められたひと時でした。



← 全社員がお神酒で乾杯! (本社前)



↑見事出来上がった餅!



↑さあ餅つきの開始! 始めは社長から!



↑女性社員もこのとおり!

## 2012年大転換期! 社員一丸となり前進!

皆様も既にご承知のように、2012年は世界にとっても、日本にとっても、そして地方や企業にとっても、大転換期の第一歩の年になるであろうと思います。東日本震災からの本格的な復興がいよいよ目に見える形となり、その復興需要が国内GDPを約1%引き上げていくという動きが功成連一方では、格安の国内航空貨物の導入やスカイリーの開業・ロンドンオリンピックなどの経済効果が



経営企画室 前説

国内外共にもたらされると同時に、観光業を中心として地域活性化の兆しが出てくるものと勝手ながら予想しているところです。しかし、今年は多くの先進国の首長選挙が行われ、その結果次第では疲弊したヨーロッパ経済の波が、この日本にもやがて訪れて来るであろうと推察されます。そうなれば、一挙に混地とした世界情勢・経済情勢になる可能性も否定できないところでしょう。このように、国内だけではなく世界が大きく変わるのがこの2012

年。言ってみれば、今年が世界・日本・地域・企業・家庭にととの大きな分岐点ではないかと思えます。だからこそこの大転換期という「変化のチャンス」を見逃すことなく、企業も人も未来に向け果敢に挑戦していく必要があるものと確信します。日本の再生・日本の創生は、今年がスタート元年。利他の精神がどれだけ日本に浸透していくかが大きな鍵となる2012年。いざ社員一丸となり前進あるのみ!